

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域福祉の理論と方法Ⅱ Community Development Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士受験資格指定科目)	特記なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
2年次前期までの必修科目の修得				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特記なし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
大塚 登		本館2階	火・水・木・金曜日の9～17時	授業中に指示します
授業の概要				
本科目では、地域福祉の理論と方法Ⅰ（前期科目）をもとに、地域福祉に係る法や制度・地域福祉計画、関連機関や団体、専門機関や担い手等について学習する。また、居住地域の福祉活動を調べ、他地域との同異点から地域特性を把握することの重要性を学ぶ。				
授業の目標				
①地域福祉に関わる法や制度を理解し、地域福祉計画の重要性を説明できるようにする。 ②社会資源の種類と活動内容を説明できるようにする。 ③地域福祉活動の方法を説明できるようにする。 ④居住地域の福祉活動を把握し、地域特性を習得できるようにする。				
授業の方法				
講義中心であるが、資料や視聴覚教材、個人ワーク・発表会等も取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
地域福祉について地域福祉計画をもとに、地域特性に応じた活動について理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって）			
第2回目	地域福祉に関わる法・制度 ① 政策・行政組織・法制度等			
第3回目	地域福祉に関わる法・制度 ② 地域保健・地域医療・生涯学習・財源等			
第4回目	地域福祉計画 ① 地域福祉計画の意義および概要			
第5回目	地域福祉計画 ② 策定プロセス、地域の特性・住民意識・社会資源調査等、佐野市における地域福祉計画			
第6回目	地域福祉に関わるサービスと活動 ① 社会資源と地域生活			

第7回目	地域福祉に関わるサービスと活動 ② 社会資源の諸活動	
第8回目	地域福祉に関わる方法 ① 地域福祉の方法	
第9回目	地域福祉に関わる方法 ② トータルケアシステム、コミュニティソーシャルワーク等	
第10回目	地域福祉に関わる機関・団体 ① 地域福祉の主体・担い手	
第11回目	地域福祉に関わる機関・団体 ② 社会福祉協議会を中心に	
第12回目	地域における福祉活動 ① 居住地域についての個人ワーク	
第13回目	地域における福祉活動 ② 発表（他地域との比較から居住地域の特性を把握する）	
第14回目	佐野市における福祉活動	
第15回目	まとめ（地域福祉に関する法制度、福祉計画、諸機関について概観する）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	15%	テキストを用意し、ノートを取りながら積極的に参加している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	70%	1～12、14～15回は、知識の定着を図る穴埋め問題（15問程度）を出します。5％×14回＝70%。
試験		
発表内容（態度含む）	15%	発表内容10%、発表スキル5％（13回目授業） パワーポイントでの発表になるが、他地域と比較して居住地域の地域福祉の特性をまとめている。
その他		
教科書と参考図書		
教科書：やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ 「よくわかる地域福祉第 5版」 ミネルヴァ書房 参考図書：新・社会福祉士養成講座9 「地域福祉の理論と方法〈第3版〉」 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
テレビのニュースや新聞記事等から、日常生活における社会問題に関心をもってほしい。社会福祉士としての視点から地域福祉を捉えてほしい。		